

宇都宮都市交通戦略 施策事業評価表 I

1. 施策の目的と目標

□目標とする交通環境	I. 誰もが移動しやすい交通環境を整備する				
□目的	公共交通が利用しにくいクルマに依存しなくてはならない現状を改善して、市民や来街者など誰もが公共交通を利用しやすくすることにより、目的に応じて公共交通とクルマが共存できる交通環境の構築を目指す。				
□施策の体系	(1) 公共交通空白地域を改善する (2) 幹線と支線により、効率的に目的地に移動できる公共交通を整備する (3) バスの利便性を向上する		(4) 公共交通の案内情報を充実する (5) 公共交通へのアクセス手段を拡大する (6) 渋滞を解消し公共交通も通りやすい幹線道路を整備する		
□目標指標	指標名	基準数値 (a) (基準年)	数値 (b) (評価年)	目標数値 (c) (目標年)	進捗状況 (%) 基準年(a/c) ⇒ 評価年(b/c)
	① 公共交通の年間利用者数	3391万人 (H18年)	3209万人 (H24年※)	4200万人 (H30年)	80.7% ⇒ 76.4%
	② 都市計画道路の整備率	67.4% (H22年度)	68.9% (H24年度)	73.1% (H29年度)	92.2% ⇒ 94.5%
	③ 交通での移動に関する市民満足指標 ・公共交通ネットワークの充実 ・道路ネットワークの充実 ・自転車のまち宇都宮の推進	32.3% 38.0% 30.8% (H24年度)	28.6% 34.4% 24.5% (H25年度)	45.9% 50.8% 41.2% (H29年度)	70.4% ⇒ 62.3% 74.8% ⇒ 67.7% 74.8% ⇒ 59.5%

※H24年：バスはH24.10~H25.9 東武鉄道と地域内交通はH24.4~H25.3 JRはH24.1~H24.12

2. 重点施策事業の進捗状況

(凡例) ◎:おおむね計画どおりに実施(実施中) ○:一部実施(実施中) △:検討中 -:未実施

施策事業名	事業主体	H24年度 実施状況	H25年度 当初予定	H25年度 実施状況	H25年度 評価	H26年度 当初予定
1-① バス路線の新設	バス事業者 宇都宮市	○路線新設の検討 ○路線新設(社会実験) →H25.1~中心市街地南循環線(東野交通), 平松本町線(関東自動車) ※運行頻度向上 →戸祭台循環線(関東自動車), ベルモール線(関東自動車, 東野交通)	○路線新設 →東図書館線(東野交通) ○路線新設(社会実験) →中心市街地南循環線, 平松本町線: 自主運行に向けた運行計画改善, 利用促進の実施	○路線新設 →H25.4~東図書館線(東野交通) ○路線新設(社会実験) →双方方向運行, ダイヤ変更, 買い物クーポン等の実施 →中心市街地南循環線:月1千人余利用 →平松本町線:月6千人超利用 ※運行頻度向上 →帝京大線(関東自動車) 御幸ヶ原元町線(東野交通)	○ ・東図書館線の新設により, 東図書館や平出工業団地等への新たな利用者の確保につながっている。 ・中心市街地南循環線は, 双方方向運行等の改善を行ったが, 利用者が運行開始当初と同程度となっており, 更なる運行計画の改善を検討する必要がある。 ・平松本町線は, 利用者数が運行開始当初の2倍となるなど着実に増加しているが, 日中の需要掘り起こし等更なる利用者の確保に取り組む必要がある。	○路線新設 →雀宮真岡インターパーク線(東野交通) ○路線新設(社会実験) →今宮線(新規) →中心市街地南循環線, 平松本町線(継続)
1-② 地域内交通の導入	地域住民 宇都宮市	○導入に向けた取組 →説明会・調査の実施:上河内, 河内 →試験運行の開始:富屋, 横川 ○導入地区の取組 →運行計画の見直し:清原, 国本, 篠井 →支援制度の見直し検討	○導入に向けた取組 →意識醸成・意向把握 →運行内容の検討 →試験運行開始予定:雀宮, 上河内, 河内 ○導入地区の取組 →新たな支援制度による利用促進	○導入に向けた取組 →説明会・調査の実施:河内, 平石, 姿川, 豊郷 →試験運行の開始:雀宮, 上河内, 河内 →本格運行移行:横川, 富屋 ○導入地区の取組 (14地区中10地区11路線で導入) →運行計画改善(目的施設の追加等) →支援制度拡充(利用促進費補助, 運行診断, インセンティブ制度等)	◎ ・H24年度に試験運行を開始した2地区(横川, 富屋)において, 地域における利用促進策の実施等により運行が定着したことから, 本格運行に移行するとともに, 新たに3地区(雀宮, 上河内, 河内)において試験運行を開始するなど, 着実に取組が広がり, 郊外部の日常生活の移動手段の確保につながっている。 ・引き続き, 未導入地区における早期運行に取り組むとともに, 導入地区においては, 持続可能な運行を目指し, 更なる利用促進や運行効率化, 導入自治会の拡大に取り組む必要がある。	○導入に向けた取組 →意識醸成・意向把握 →運行内容の検討 →試験運行予定:平石 ○導入地区の取組 →本格運行予定:雀宮, 上河内, 河内 →運行効率化, 利用促進 →導入自治会の拡大(清原, 城山, 雀宮) →料金・目的施設設定等の基準の再整理
1-③ C&R(C&BR)用駐輪場の整備	バス事業者 栃木県 宇都宮市	○バス車庫等 →細谷, 柳田(拡充) ○バス停付近 →平出工業団地公園, 堀切, 稚ヶ坂坂上, 西中丸	○鉄道駅付近 →東武江曾島駅東口 ○バス停付近 →4か所(野尻ほか)	○鉄道駅付近 →東武江曾島駅東口(254台) ○バス停付近 →野尻, 狭又局前, とちぎ男女共同参画センター(各15台)	◎ ・駐輪場の整備により, 鉄道駅や郊外部のバス路線へのアクセス性が向上し, 公共交通の利用促進につながっている。 ・引き続き, 交通事業者や道路管理者等と連携を図り, 整備を推進する。また, 公共施設の既存駐輪場の活用など更なる展開の検討と併せ, 利用の少ない駐輪場については周知など利用促進を図る必要がある。	○バス停付近 →5か所(下栗団地, 富屋地区市民センターほか)
4-① 鉄道駅におけるインフォメーションの改善	バス事業者	○JR宇都宮駅 →有人案内の実施(西口3→4人, 東口新1人)(関東自動車) →観光案内所への情報提供 →市広報紙, テレビ, ラジオによる案内システムの周知	○JR宇都宮駅 →有人案内の実施(体制維持) →観光案内所との連携 →案内システムの周知	○JR宇都宮駅 →有人案内の実施(体制維持) →観光案内所への情報提供 →市広報紙, 改定バスマップによる案内システムの周知	◎ ・有人案内の実施や観光案内所との連携等により, 公共交通ネットワークの中心であるJR宇都宮駅における円滑なバス利用につながっている。 ・引き続き, 関係者が連携を図り, 来街者等のバスの円滑な利用に資する案内の充実に取り組む必要がある。	○JR宇都宮駅 →有人案内の実施 →観光案内所への情報提供 →バス総合案内システムの周知

